

の見解をお伺いいたします。

町長

よくばり体験の中で、修学旅行の受け入れが、地域の方の協力によって膨らんできています。そういうふるさと活性化の企画、運営の中で各分野の専門知識を有する農業関係、漁業関係、林業関係、商工関係等、それぞれの分野で研究会がつけられ、開発等が進めていければと思います。

ご指摘は十分受け止め、今後検討したいと思えます。

産業建設課長

農林水産業、商工関係者による技術力、商品開発力、販売力を兼ね備えた関係者を集め、異業種間の協議というのも大事であると思えます。こういう取り組みを実施できるよう、行政としても今後考えたいと思えます。

リフォーム助成についても、地域経済活性化の対策ですので、今後関係機関との協議をし、実施に向けて調査検討したいと思えます。

学校での柔道 事故対策は

藤元議員

二〇一二年度より、柔道が中学校で必修化されます。柔道自体は、礼法を重視するスポーツであり、「精神力善用」「自他共栄」などの教えは、多くの子どもたちに学んでほしいと思えますが、気になるのが事故の多さです。

ある調査によると、二十



町民センターでの柔道練習

七年間で学校管理下、百十人の子どもが命を落とし、後遺症の残る事故が二百六十一件起こっています。学校で行われている他のスポーツでは考えられない数字です。

指導者の確保・養成、用具の整備等、十分な準備が必要だと思いが、その認識は。

教育長

学校における柔道事故が大変多いという現実があり、事故防止のためには、

①指導内容の工夫・改善に努めること。

②外部指導者の活用も含め、指導力の向上を図って行くこと。

③施設、設備、道具、用具の充実に努めること

だと考えています。柔道が、学校現場に新しく導入されるということではありませんので、大きな事故が絶対に発生しないよう努めてまいります。

契約終了後の 大型共同作業所は

藤元議員

平成二〇年三月議会で、有限会社叶繊維の本店と設置されている土地は、抵当権が設置されていて、抵当権者は、牟岐町であること。さらに、取締役の住所とされる土地、建物は徳島県信用保証協会に差し押さえられていることを明らかにし、まともな会社ではないのではないかと、実態がないのではないかと、新

たな利用方法を考えるべきではないかと質問しました。その後、六月議会で、三年間の新たな契約が結ばれたということが明らかになりましたが、今月末が、三年間の期限です。今後どうするのか。

町長

海部郡六町が国庫補助事業で建設し、現在に至っておりますが、現在の使用状況は、本来あるべき姿ではないとは思っています。牟岐バイパス予定路線にもなっていますし、三月三十一日が契約期限になっていきますので、早急に明け渡しに向けて対応したいと思えます。

住民福祉課長

バイパス路線の問題、施設の老朽化等、今後の運営に影響を及ぼすようなことがございますので、最終的には明け渡しを含めた話になるかと思っています。三月中には結論を出したいと考えています。